

2007年9月5日

豊橋経済記者クラブ各位

株式会社サーラコーポレーション
ガステックサービス株式会社
サーラ物流株式会社

廃食用油の再生リサイクル事業に着手

株式会社サーラコーポレーション（代表取締役社長：神野吾郎）の連結子会社・ガステックサービス株式会社（代表取締役社長：神野吾郎）及びサーラ物流株式会社（代表取締役社長：伊藤光夫）が、飲食店などから排出される天ぷら油など植物性の廃食用油を再生リサイクルし、バイオディーゼル燃料（以下 BDF：Bio Diesel Fuel）を精製する事業に共同で着手することにいたしましたのでお知らせいたします。

BDF は、軽油の代替燃料としてディーゼルエンジン車でそのまま使用でき、排気ガス中の黒煙が軽油より大幅に少なく、酸性雨の原因となる硫黄酸化物（SO_x）の排出量がほぼゼロであることが特徴です。さらに、植物由来燃料としてカーボンニュートラルとされ、二酸化炭素の排出量を抑制できるため、クリーンな燃料と位置付けられています。

3社が属するサーラグループでは、2004年にサーラグループ環境方針を制定し、具体的な活動プログラムである「サーラエコプログラム」を中心に環境活動に取り組んでおりますが、今回の事業を通じて、地域における資源循環型社会の構築にさらに貢献して参りたいと考えております。

記

1. 回収エリアと回収先について

廃食用油回収エリアは、当面は豊橋市を中心とした東三河および浜松エリアとし、飲食店やお取引のある企業の社員食堂、ガステックサービス株式会社が運営する豊橋グランドホテルや四川飯店などのグループ会社から排出される廃食用油の回収を行います。

なお、廃食用油の回収にご協力いただける飲食店には、廃食用油をリサイクルしていることをお知らせするステッカーやポスターなどを、また、BDFを使用する車両には、二酸化炭素の排出量の抑制に貢献していることを表すステッカーをご提供させていただきます。

当初はグループ会社などから排出する廃食用油のリサイクルから開始いたしますが、地域の飲食店、ISO14001などの環境活動をしている企業、将来的には一般家庭などに幅広く協力を呼びかけ、回収を拡大していきたいと考えております。また、長期的には、西三河から静岡県東部までの広域での展開を計画しております。

2. BDFの利用について

精製された BDF は、グループ会社の一部車両で使用し、品質や供給体制などの実証を行います。その後、実証結果をもとに一般に販売できる体制を整備していきたいと考えております。

3. BDF 精製プラントについて

BDF 精製プラントは、サーラ物流株式会社・豊橋リサイクルセンター内（豊橋市神野新田町字ルノ割）に設置し、サーラ物流株式会社が運営します。

当初は、月産約 3,000 ㍓の規模で開始いたしますが、回収量の増加とともに、精製能力を增強していきたいと考えております。

4. スケジュール

9月15日にBDF精製プラントを設置し、10月1日から事業を開始いたします。

5. 問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション 経営企画室 渡会
(電話) 0532-33-8877

ガステックサービス株式会社 生活サポート事業部 川口
(電話) 0532-32-5161

サーラ物流株式会社 物流部 生活関連事業グループ 荘司
(電話) 0533-73-2991

以上